※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２０６ |
|---|---|

# 令和４年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新版　公共」　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 教科書準拠版　新版　公共　整理ノート　（数研出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、現代社会の諸課題を把握したうえで、社会に参画する際に、選択・判断するための手掛かりとなる見方や考え方理解し、課題の解決策を考察します。そのうえで、課題の解決に向けた合意の形成をめざし、協働的に考察、構想し、自分や活動班の考えを説明したり、論述したりできる力をつけていきます。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」が授業のおおまかな流れです。その過程で、レポートの提出や発表の機会を設けます。社会の諸課題の解決に対して受け身ではなく、自分が社会に参画するという積極的な態度を評価します。授業を通して自己の成長が感じられるように取り組んでいきましょう。

## ２　学習の到達目標

（１）現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
（２）現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
（３）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 | よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| １学期 | 第１編　第１章社会を作る私たち | ・人生における青年期の意義と特徴を理解する。<br>・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。<br>・パーソナリティの理論や青年期の発達課題を理解する。<br>・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。<br>・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。<br>・国際社会で生きるために，日本人が身に付けるべき態度と能力を考える。 | a:第二の誕生や防衛機制について理解している。他者とともに協働して生きることの重要性、日本人の伝統的な自然観や倫理観を理解している。<br>b:青年期の意義と特徴、望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現している。国際社会で生きるために、身に付けるべき態度や能力について、多面的に考察し、適切に表現している。<br>c:青年期の発達課題や自己形成の課題、職業や社会参加の意義への理解を通し、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第1編　第2章　人間としてよく生きる | ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス，プラトン，アリストテレスの主張、各宗教が説いた人間の生き方や社会のあり方について理解する。<br>・近代ヨーロッパの思想家たちの考えや実存主義について理解する。<br>・現代の思想家たちは他者とどのようにして公共性を確立しようとしたか理解する。 | a:ソクラテスが唱えた「よく生きる」ことが何であるか、宗教が人間の生き方や社会の在り方に与える影響について理解している。近代ヨーロッパの思想家たちの考え方を理解している。他者や公共性について現代の思想家たちの考え方を理解している。<br>b:よく生きることについて、各宗教の教えから学べることについて、多面的に考察し、適切に表現している。近代ヨーロッパや現代の思想家たちの考え方を読み取り、他者を尊重することの大切さを適切に表現している。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、思想家たちの考えを理解したうえで、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |
| | 第1編　第3章　社会とは何か | ・人間の尊厳と平等といった原理、差別や偏見を是正するための取り組みについてそれらの背景にある考え方を理解する。<br>・個人の自由や権利がどのように認められるのか、自由・権利と責任・義務の関係は将来世代の問題としても考えられることを理解する。 | a:　人間の尊厳や平等について，その背景にある生命尊重と非暴力の思想や，個人の尊重の考え方、寛容の考え方を理解している。自由・権利と責任・義務の関係、世代間倫理の考え方を理解している。<br>b:人間の尊厳や平等について、男女共同参画社会を実現する望ましい方策について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |
| ２学期 | 第1編　第4章　民主主義の作り方 | ・民主政治の誕生と発展、基本的人権の歴史的発展について理解する。<br>・民主政治の意義と課題、議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する | a:個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理を理解している。民主主義の発展の歴史や立憲主義の考え方について理解している。各国の政治制度の特徴を理解している。<br>b:民主主義の課題、議院内閣制や大統領制などについて、多面的に考察し、適切に表現している。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義や法の支配といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第2編　第1章　日本国憲法の基本的性格 | ・大日本国憲法と日本国憲法の特徴と相違点について理解するとともに、憲法の最高法規性について理解する。<br>・日本の安全保障政策の展開と課題について理解する。<br>・日本国憲法が保障する基本的人権について理解する。また、人権に関する現実社会の課題ついて理解する。<br>・新しい人権、公共の福祉について理解する。 | a:明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を適切に読み取っている。自衛権に関する政府解釈の変化を適切に読み取っている。人身の自由の規定の背景について理解している。法の意義と役割について理解している。<br>b: 日本国憲法と大日本帝国憲法の相違点を読み取り，多面的に考察している。沖縄の基地問題について，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。・死刑制度の是非について、在日外国人の権利について、憲法が保障する自由や権利について、協働的に考察し，適切に表現している。新しい人権や公共の福祉について，協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: 憲法について、我が国の安全保障と防衛について、基本的人権について、新しい人権，法や規範の意義及び役割について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |
| | 第2編　第2章　日本の政治機構と政治参加 | ・国会と内閣の構成、官主導社会とその課題について理解する。<br>・司法権の独立や裁判、裁判員制度や検察審査会について理解する。<br>・地方自治の本旨、戦後の地方自治の課題や地方分権改革について理解する。<br>・各選挙制度の特徴と課題、日本の政党政治の特徴と課題について理解する。<br>・マス･メディアや SNS の役割と政治にもたらす影響、・政治参加の課題について理解する。 | ａ：国会・内閣・裁判所の役割や権限について理解している。地方自治の団体自治と住民自治を理解したうえで、都市と地方の格差などの課題や解決策について理解している。日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解しているマス・メディアや SNS の政治に対する世論形成や政治にもたらす影響、投票率の低下や無党派層の増加などの課題について理解している。<br>ｂ：内閣総理大臣の権限について，協働的に考察し，適切に表現している。裁判員制度について，多面的に考察し，適切に表現している。地域社会の課題とその解決策、政治参加の意義について、協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。<br>ｃ：日本の政治機構、司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追及して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。地方自治、選挙制度と政党政治について主体的に追及して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第2編　第3章　現代の経済社会 | ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。<br>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。<br>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 | ａ：雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。<br>　現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br>ｂ：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>ｃ：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第2編　第4章　経済活動のあり方と国民福祉 | ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。<br>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。<br>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 | ａ：多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。<br>ｂ：現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>ｃ：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第2編　第5章　国際政治の動向と課題 | ・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。<br>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。<br>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 | ａ：国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。<br>　現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br>ｂ：自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>ｃ：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３<br>学<br>期 | 第2編　第6章　国際経済の動向と課題 | ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。<br>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。<br>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 | a: 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。<br>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br>b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第3編　持続可能な社会の主体となる私たち | ・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述させる。<br>・この科目のまとめとして位置付け，社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，第１部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに，第１部及び第２部で扱った課題などへの関心を一層高める。<br>・個人を起点として，自立，協働の観点から，多様性を尊重し，合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する。 | a:　第１部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに，第１部及び第 2 部で習得した知識及び技能を活用している。<br>b:　地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。<br>c:　よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br><br>ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度